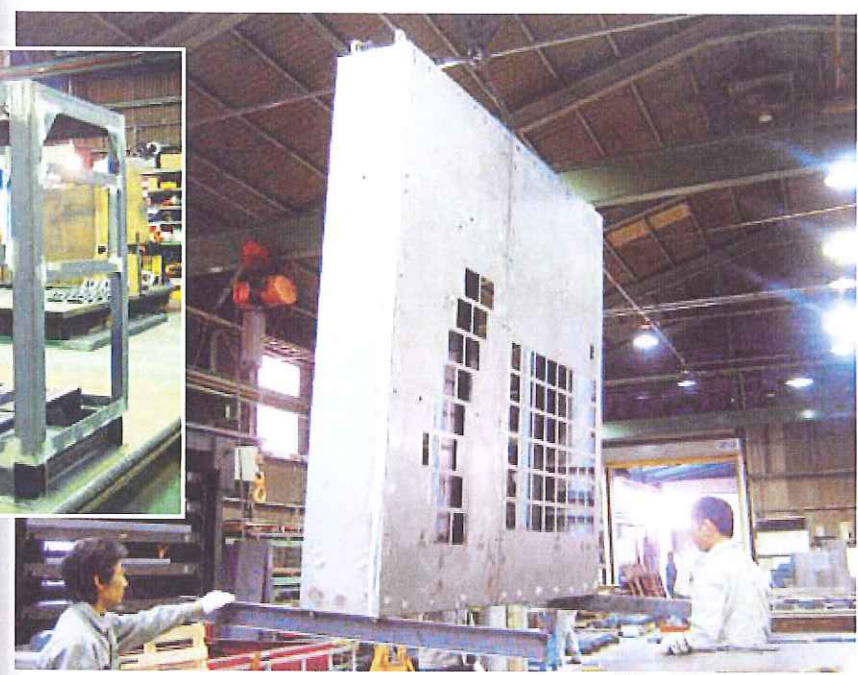


日本を支える 大物製品への挑戦



NCユナイテッド



NCステン筐体

Company Profile

- 会社名：株式会社横浜システム
- 所在地：神奈川県横浜市港北区新羽町474
- TEL：045-534-0071 / FAX：045-534-0072
- 得意 & 特異技術
筐体板金加工を主体に小さい製品から大型の製品まで加工可能。レーザー加工、プレス加工等により自社設計・加工・組立を行う。
- お問合せ
担当：板垣良幸
TEL：045-534-0071

株式会社横浜システム

横浜システムは電車の車両用部品、トレーラーの車両用の部品、建築物、プラントの機械部品など多種多様な大物製品を製造されている。産業を問わず「ほとんど何でも」扱っている大物の精密板金・製缶屋さんであり、ステンレス、鉄、アルミ、銅、亜鉛、チタンなどあらゆる鋼材のレーザー加工、プレス加工、溶接加工を行い、常に新しい技術や工法を取り入れて、様々な製品に積極的に臨んでいる。

比較的わかりやすい製品例といえば、やはり電車関連である。運転席と客席の仕切り部分は大きさにしておよそ高さ

2.7m、幅3.5mほどであり、組立完成後の姿になればおそらく想像しやすいのではないだろうか。通勤電車の車両全体（外観）のメインパーツでいえば、つないでいくと前出の面積に加えて奥行きが30mくらいの大きさ、重さにして3tから4tという、お馴染みの超大物製品である。その他には、通称「側外板」という窓枠部や高床部分、排気用の装置部品などの製作にもあたられている。

電車以外では大手メーカーの下請けとして、「卓」と呼ばれるパソコンを置いてオペレーションをする台（デスク）や、半導体製造装置、原子力の設備盤なども多く手

がけられている。最近では関東近郊の遊園地で使用する大型の運搬台の製造も行ったそうだ。これもまた、何tもの重量に耐えられる製品である。

工場には昨年より加圧能力350tの新型ベンダーを導入し、それまでの125tベンダーと合わせてプレス加工能力を一段と上げ、薄物、厚物といった用途に分けて曲げ加工を行われている。トレーラー車体部品の長さ2.4m以上、板厚9mmの曲げ物は、昨年だけでも500本近くも納入された。3月に導入するアマダのレーザー加工機F1では2mから4mの加工範囲、25mmから



設計室

1mmまでの厚さに対応出来る。この2次元の自動化マシンを駆使し、加工に時間のかかる厚いものを中心に、夜間の無人稼働を行っていくそうである。

同社は“人を伸ばす”経営方針に大変こだわりをみせており、新しい風とエネルギーで満ち溢れている。これらの力は今後も多くの大物製品へ惜しみなく注がれ、日本を支え続けてゆくに違いない。



羽賀十一社長（左）と羽賀弘取締役（右）